

非特異性多発性小腸潰瘍症の内視鏡画像解析とアトラス改訂

研究分担者 氏名 松本主之 所属先 岩手医科大学医学部内科学講座
消化器内科消化管分野 役職 教授

氏名 内田恵一 所属先 三重県立総合医療センター小児外科
役職 診療部長

研究協力者 氏名 細江直樹 所属先 慶應義塾大学医学部内視鏡センター役職 准教授
研究要旨：

厚生労働科学研究費「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」班（松本班）において、2016年に非特異性多発性小腸潰瘍症画像診断アトラスを刊行した。5年以上が経過し、内容に関して変更、修正が必要である。そこで、アトラスの改訂を目的とし、プロジェクトを立ち上げた。2022年3月、アトラス改訂が終了した。今後、承認の後に公開予定である。

共同研究者

冬野雄太、梅野淳嗣（九州大学病態機能内科学）、江崎幹宏（佐賀大学医学部内科学講座消化器）、大宮直木（藤田医科大学先端光学診療学講座）、井上幹大（藤田医科大学小児外科）、中山佳子（信州大学医学部小児医学教室）

力者、共同研究者の施設から新たな症例画像を提出してもらい、アトラスに追加する。新診断基準（案）を記載し、解説を行う。

（倫理面への配慮）

アトラスには個人を判別できる情報を記載しない。

C. 研究結果

前回作成したアトラスに画像を提出してもらった施設に確認を行い、アトラス発刊後にSLCO2A1遺伝子バリエーションが確認できた症例についてはその旨を記載し直した。また、新たな症例画像を追加した。新診断基準（案）を記載し、解説を行った。2022年3月、アトラス改訂が終了した。

D. 考察

新診断基準は2022年3月31日現在、厚生労働省健康局難病対策課にて最終の審議を行っており、厚生労働省の承認、局長通知が下りた後に、ホームページ上に公開する。

A. 研究目的

厚生労働科学研究費「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」班（松本班）において、2016年に非特異性多発性小腸潰瘍症画像診断アトラスを

（<http://ibdjapan.org/pdf/doc06.pdf>）刊行した。5年以上が経過し、内容に関して変更、修正が必要である。そこで、アトラスの改訂を目的とし、プロジェクトを立ち上げた。

B. 研究方法

前回作成したアトラスに記載した症例の内容で変更があった部分の改訂を行う。また、研究協

- E. 結論 (予定を含む)
非特異性多発性小腸潰瘍症画像診断アトラス
改訂を終了した。 1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

G. 研究発表

1. 論文発表

A Case of Chronic Enteropathy Associated with Solute Carrier Organic Anion Transporter Family, Member 2A1 (SLCO2A1) with Positive Immunohistochemistry for SLCO2A1 Protein. Ariake C, Hosoe N, Sakurai H, Tojo A, Hayashi Y, Ji Limpias Kamiya K, Sujino T, Takabayashi K, Kosaki K, Seki S, Hisamatsu T, Ogata H, Kanai T.

Intern Med. 2022 Feb 19. doi:

10.2169/internalmedicine.8939-21. Online ahead of print.

2. 学会発表

小腸粘膜に SLCO2A1 蛋白の発現を認めた CEAS の 1 例

有明 千鶴, 細江 直樹, 櫻井 陽奈子, 奥澤 杏奈, 林 由紀恵, リンピアス神谷 研次, 筋野 智久, 高林 馨, 關 里和, 久松 理一, 緒方 晴彦, 金井 隆典

第 366 回日本消化器病学会関東支部例 (2021. 9)

Chronic enteropathy associated with SLCO2A1 (CEAS) のカプセル内視鏡

細江直樹、東條杏奈、櫻井陽奈子、林 由紀恵、有明千鶴、リンピアス神谷研次、筋野智久、高林馨、緒方晴彦、金井隆典

第 15 回日本カプセル内視鏡学会学術集会 (2022.2)

H. 知的財産権の出願・登録状況